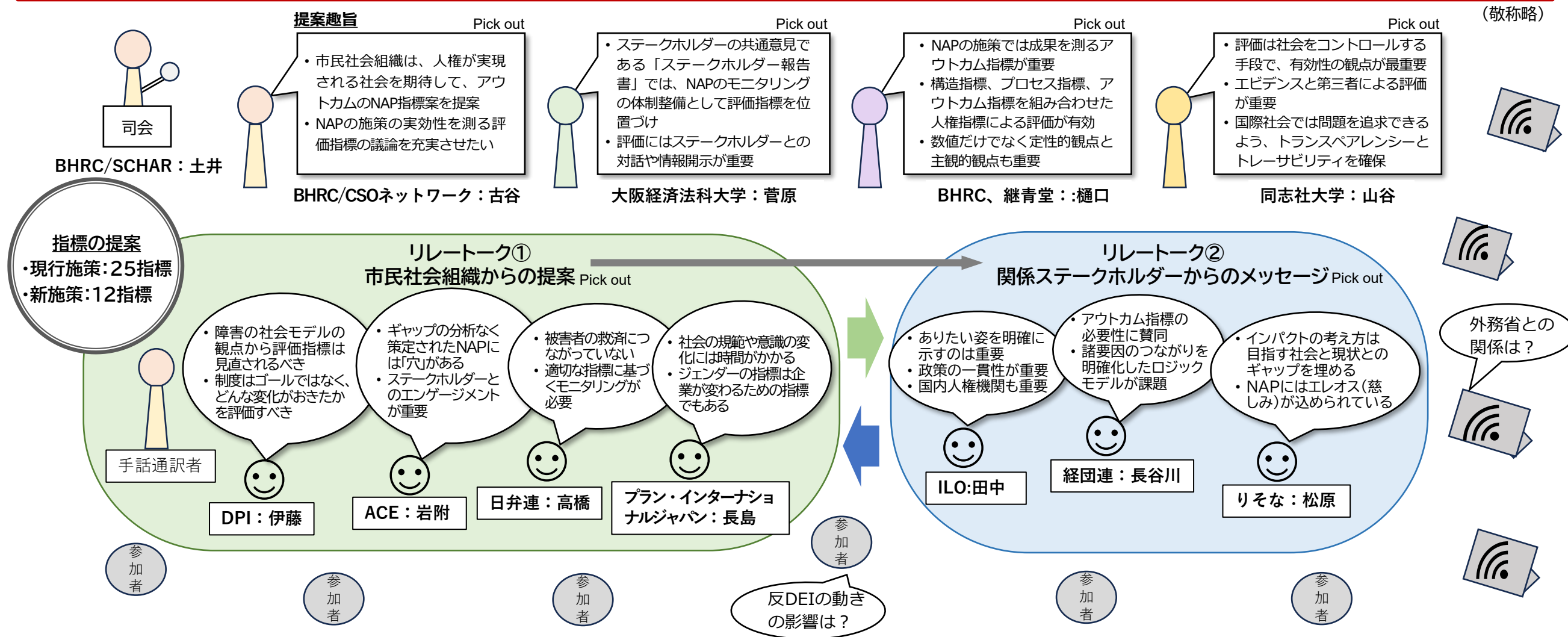




【開催報告概要】会場参加者は30名、オンライン参加者は140名となり、会場には指標を提案した市民社会組織のほか、研究者、企業団体、企業、機関投資家、労働団体などマルチステークホルダーによるNAP評価指標をめぐる様々な議論が展開されて会場は熱気に包まれました。今後、2025年改定のNAPへの議論が加速することが期待されます。



アンケート 結果から

- 今期のNAP計画で未達成の指標に関する深掘り調査(事後評価)を期待する。
- 本日のご意見が反映されることを期待する。
- 私たちの団体においても、アウトプット指標で事業を進めていないか?再度、アウトカムに視点を置きながら、事業を進めていこうと思いました
- 今のままではダメなんだと思っている方がこんなにも多くいらっしゃることで、今の日本も捨てたものではないと実感。